



【指標の説明】

中心静脈カテーテル挿入は医療現場に普及している処置ですが、不幸にも処置に伴い気胸の合併症が発生する症例も報告されています。

合併症頻度を低く保つことは、医療安全に対する取り組みの指標となります。

当院で中心静脈カテーテル挿入の処置を行う医師は、当院のカテーテル挿入指導医による講習と実技指導を受け認定されないと、この処置を行ってはならない規定になっています。

当院で気胸合併率は非常に低いのは、「院内・中心静脈穿刺認定医制度」の効果が大きいです。